

回数 第20・17・4回
年月 2018.03.14(水) 無風・快晴・高温
コース 9番・澄楽寺発8:07-10番・蔵春院8:49-11番・長源寺10:28-12番・長温寺11:40-13番・北條寺12:30~13:30-14番・慈光院14:40-15番・高岩院15:20
距離 約18.5km
参加者 28名

前回最終の大仁・澄楽寺発。天気は良く高温。旧東洋醸造では、朝のラジオ体操をやっていた。田京駅から山に向かい、10番・蔵春院でお参り。ここは立派なお寺。田舎道を進み、11番・長源寺着。参加者が野良人に野菜を貰った。



蔵春院



参道

長源寺では、住職が寺の歴史を話してくれた。今まで知らなかった寺の「カラクリ」が分かった。住職父の、先代の住職は、「シャレ」が利いた方だったようだ。住職に入って貰い記念撮影。



巡礼路のモクレン



山を下り狩野川を渡り長岡温泉着。温泉街の長温寺でお勤め。ご婦人が、御詠歌の練習をしていた。昼食時間だが頑張って、13番・北條寺着。昼食後、渡邊住職が仏像の話をしてくれた。「玉眼」がポイントだった。話後、般若心経と一緒に唱えて頂いた。やはり本物のお経は素晴らしい。

午後は高温で暑い中、葦山の14番・慈光院着。おババさまが対応。裏通りを進み、15番・高岩院着。住職は不在でお札をいただいた。山門に「山門不幸」が掲げられていたが、これは普通、住職が亡くなると行うことだが、調べたら引退した先代の住職が亡くなられたそうだ。

今回は、ここで終了。暑く長い一日でした。帰路、「函南桜」（河津桜）が、柿沢川沿いに満開でした。

2018期・発心巡礼。先期終了が10月。11月が雨中止だったため、今回は新しい巡礼の始まり。

新しい参加者が9名参加。修善寺に向かう。境内のお水取りは、お湯が流れている。温かい湯に感激。丁度、吉野老師が境内掃除中。



吉野老師



挨拶をすると本堂でお勤めをと勧められる。早朝の凜とした中での勤め。二年後再び戻るように祈願。気持ちが良かった。終了後、一番札所に向かう。

宮田橋を渡り狩野川右岸に移る。川には、いつもの鮎釣りはいない。川の流が清らか。松ヶ瀬で狩野川では珍しい「松ヶ瀬吊橋」を見学した。なかなか素敵な橋。



松ヶ瀬橋

矢熊の真正寺で休憩。この寺は、「伊豆七福神巡り」の一ヶ寺で別名「恵比寿寺」と呼ばれている。中に地元のババ様が数名いた。聞けば、御詠歌の練習と言った。伊豆八十八札所の話をしたが、余り知っていなかった。

トイレを借りて一番に向かう。一番札所は現在、住職が病気で無住職になった。ここは発心寺。物事の始まりである。

二番に向かう。例年発心巡礼は、4月だが今回は12月。冬は初めてで見える風景が違い新鮮だった。弘道寺の裏山が桜公園になっているのを初めて知った。

ここで昼食をいただく。熱いお茶がサイコーに美味しかった。昼食後、境内で山居住職の話をいただいた。午後は、標高差300mの国土峠を越える。何人かはバスの人。新しい方も頑張って越えた。下って筏場のワサビ田。早くも開花しているワサビがあった。更に下って、ワサビ店・たか惣。今回はここでお終い。

初めての方は、ちょっと大変な巡礼でした。恒例のバス一言では、「面白かった・楽しかった・来年も頑張る」のコメントでした。お疲れ様でした。



弘道寺



山居住職のお話



第17・14・1回
伊豆八十八札所巡礼
2017.12.13
二番札所・弘道寺（湯ヶ島）

二番札所・弘道寺